

令和6年度外部評価会 集計表(農業者用)

所属名：大隅地域振興局 農政普及課

課題名③	有機栽培茶への取り組みと輸出向け茶生産体制の構築					
項目	評価の視点	評価結果(人)			外部委員からの意見・提言	意見・提言等に対する改善策や普及指導計画への反映等
		適当	概ね適當	要改善		
課題の設定	①農業者や地域が必要とする課題であるか	6	1			
対象の選定	②課題に対して対象(農業者, 地区)の選定は適切であるか	5	2			
活動体制・活動方法	③関係機関とうまく連携して活動しているか	5	2			
	④活動(活動方法, 時期, 手段)は適切であるか	5	2			
	⑤専門的な技術・情報を活用して効果的な活動が行われているか	7	0			
活動の成果	⑥農業者や地域・産地等の育成や成長に効果が上がったか	3	4			
活動の波及性と改善	⑦他の課題や他農業者, 地域への波及性があるか	3	4			
	⑧結果が十分でないものは今後の対策を考えられているか	3	4			
全般的な意見・提言等		・生産者にしっかりした説明をして有機茶の推進をお願いします、碾茶工場を肝属に建てたいものです(前田)				

令和6年度外部評価会 集計表(関係者用)

所屬名：大隅地域振興局 農政普及課

課題名③	有機栽培茶への取り組みと輸出向け茶生産体制の構築						
項目	評価の視点	評価結果(人)			外部委員からの意見・提言	意見・提言等に対する改善策や普及指導計画への反映等	
		適當	概ね適當	要改善			
課題の設定	①課題は地域の農業振興上、重要な課題であるか	8	0				
対象の選定	②課題に対して対象(農業者、地区)の選定は適切であるか	6	2				
活動体制・活動方法	③関係機関と連携して活動しているか	6	2				
	④活動(活動方法、時期、手段)は適切であるか	5	3				
	⑤専門的な技術・情報を活用して効果的な活動が行われているか	5	3				
活動の成果	⑥農業者や地域・产地等の育成や成長に効果が上がったか	3	5		・あまり農業者が見えてこなかった	発表の中で指導対象の農業者が見えなかつたことは説明が足りなかつた。今後、農業者への指導状況がわかるように説明していく。	
	⑦指導対象が積極的に課題解決にあたるようになったか	3	5				
活動の波及性と改善	⑧他の課題や他農業者、地域への波及性があるか	4	4		・今後の茶の方向性は難しい課題、普及の力を期待します？	普及指導員として技術力や経営管理の指導力を高めて、農家と関係機関と共に儲かるための将来の茶経営を提案していく。	
	⑨結果が十分でないものは今後の対策が考えられているか	6	2				
全体的な意見・提言等		・市場、マーケットニーズ(海外)を踏まえ早急に取組が必要な内容を感じる、関係機関と生産者の一体的な取組をどう進めるか課題であると考える、生産者の意向は一致しているので方向性としては問題ないので市町も含めた取組をお願いしたい(鹿屋市農政課) ・期待のもてる課題であり発表としては良かった、こまごまなスライドを見せすぎなところが残念(肝付町畜産課) ・輸出に関しては有機栽培の推進が必要なので一緒にになって取り組みたい(JA鹿児島きもつき)					

肝属地域農業の「稼ぐ力」の向上対策（茶の産地づくり）

発表課題

有機栽培茶への取り組みと 輸出向け茶生産体制の構築

大隅振興局農林水産部
農政普及課茶普及係

1 課題を取り上げた背景

茶価低迷と燃料や肥料費高騰による厳しい茶業経営

2 茶の現状（国内）

(1) 国内年々作付け面積、荒茶生産量ともに減少し、供給過多

需要(年間 73,700t)

1 リーフ茶の消費量 36,700t

年々減少

2 ドリンク茶の消費量 29,500t

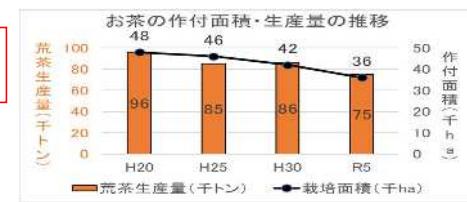
横ばいから増加

3 海外へ輸出量 7,500t
年々増加

供給(年間 74,600t)

1 荒茶生産量

一番茶	27,400t
二番茶	20,100t
三番茶	5,500t
秋冬番茶	21,600t



海外への輸出に対応する
茶生産が必要

(2) 輸出茶の増加と共に有機栽培茶が年々増加 (世界はMATCHAブーム)

【緑茶の輸出実績（世界）】

(トン)

(億円)

輸出量 (トン)

輸出額 (億円)

R6年11月までの実績
7,769 t (粉末割合58%)
321億 (粉末割合74%)

(億円)

(億円)

年々輸出增加

(億円)

(

3 肝属地区の茶の現状

- ① 栽培面積、荒茶生産量、茶工場、栽培農家ともに減少。
1戸当の栽培面積は6.6haに拡大。

	H30年度	R4年度	R5年度
栽培面積(ha)	572	518	506
荒茶生産量(t)	1,561	1,226	1,208
茶工場数	53	41	40
栽培農家戸数	110	82	77
1戸当の栽培面積(ha)	5.2	6.3	6.6
有機JAS認証面積(ha)	16	27	35

減少

増加

- ② 有機JAS認証面積は、平成30年に比べ倍増した。
栽培面積の約1割弱と少ない。
碾茶工場（県内19工場）が存在しない。

4 課題と対策

- (1) 収益確保のため
①需要の多い有機栽培茶や輸出向け茶の生産拡大が必要
②栽培・製造技術向上による単価向上が必要
- (2) 有機栽培の収量・品質を確保するため、栽培技術向上が必要。
- (3) 輸出向け茶生産拡大のために、相手国に応じた防除体系の確立が必要

5 成果目標

項目	成果目標(実績)					
	現状	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目
R5	R6	R7	R8	R9	R10	
有機JAS認証面積(ha)※1	目標	40	45	50	55	60
実績	35					

※永年作物の茶は、3年間の転換期間を経て有機JAS認証となる
→ 早めの取り組みが必要

6 有機栽培茶生産拡大への取り組み（活動状況）

課題：病害虫の被害による収量品質への影響が懸念

(1) 有機栽培茶の摘採芽における病害虫被害調査

表 病害虫被害芽の割合									
茶期	品種	20cm×20cm 枠内芽数	ヤハドヒメヨコバイ	チャノミ	ヤハドヒメヨコバイ	チャノミ	炭疽病	合計	調査日
二番茶	やぶきた	46	37%	0%	0%	0%	0%	37%	6月5日
二番茶	あさのか	47	4%	0%	6%	0%	0%	11%	6月5日
二番茶	つゆひかり	66	14%	6%	3%	0%	0%	23%	6月5日
三番茶	つゆひかり	71	0%	0%	0%	0%	0%	0%	7月18日
秋冬番茶	つゆひかり	15	27%	13%	0%	0%	0%	40%	10月3日
秋冬番茶	あさのか	9	0%	0%	0%	0%	0%	0%	10月3日

※摘採芽を調査。



二番茶 有機栽培
品種「つゆひかり」

結果：チャノミドリヒメヨコバイ等の吸汁加害は見られたが、収量品質に影響する被害は小さかった。

(2) 有機栽培茶の生産技術習得（現地検討会）

- ① 錦江町たしろ有機茶研究会（会員8名）
・摘採判定
・茶樹の更新研修会
・整枝方法研修会
- ② 鹿屋市
・二番茶後の茶樹更新方法
(実証ほ設置と現地検討会)



(3) 碾茶の生産技術習得

- 碾茶の理解と生産方法習得
① 関係機関（市町JA）と
研修会
9月 3日
- ② 生産者と研修会
11月28日



栽培上の課題
・枝が少ない
・枝の太さが不均一
・枝の樹皮が古い

11/28 地区茶業振興会主催
(深蒸し煎茶と碾茶研修)

7 輸出向け茶生産体制の構築（活動状況）

(1) 輸出に関する農薬情報の周知（肝属地区茶業振興会）

- ・日本,米国,台湾の残留農薬基準値を掲載
 - ・農薬を選定する際に活用

(2) 管理こよみを米国輸出対応とし周知（肝属地区茶業振興会）

令和7年 茶園の管理こよみ（米国輸出対応）

8 有機栽培茶の経営実態と課題

表1 県茶市場における有機栽培茶と茶市場全体の平均単価

	一番茶	二番茶	三番茶	秋冬番茶
有機栽培茶(肝属地区) (円/kg)	3,143	1,188	1,100	813
茶市場全体 (円/kg)	1,755	682	455	382
有機栽培茶の単価比 (有機/全体) (%)	179%	174%	242%	213%

有機栽培茶の単価
↓
市場全体の
約2倍高

表2 10a当たりの生葉収量

	A	B	C	D	平均
一番茶	295	290	365	317	288
二番茶	333	589	374	470	356
三番茶	228	315	899	971	544
合計	856	1,194	1,638	1,757	1,194

— 収量目標 → 各茶期500kgが目標

課題:一茶、二茶の収量が少ない

原因:茶樹の枝条数が少ない

4 対策: 茶樹の更新方法と整枝方法

9 実績 令和6年度約30haで有機栽培を新たに開始

項目	成果目標(実績)					
	現状	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目
	R5	R6	R7	R8	R9	R10
有機JAS認証面積(ha)※1	目標		40	45	50	55
	実績	35	47			

10 次年度への取り組み

(1) 有機栽培茶の安定した収量・品質向上

- ① 11月の高温による冬芽（次年度一番茶）の再萌芽対策
 - ② 茶樹の更新と整枝方法の確立
 - ③ 茶製造技術の向上

(2) 輸出相手国に対応した茶生産体制の確立

- #### ① 各国の残留農薬基準の情報収集と管理こよみの改定

(3) 产地体制の強化

- ① 茶工場の再編（人手不足、機械の更新費用対策）
② 碾茶生産への取り組み

ご清聴有難うございました